

住民によるまちづくりの実現・美しい街並の実現・花の産地ふかやのイメージアップ

深谷市ガーデンシティ ふかやプラン ～3rdステージ～



令和6年3月
深谷市協働推進部
ガーデンシティふかや推進室

目次

【計画策定の目的】	3
【計画の位置づけ】	4
【計画の期間】	4
【現状】	4
【市民意識の把握】	5
【目指すまちづくりの姿】	6
【ガーデンシティふかや推進のための3つのキーワード】	6
【施策体系図】	7

愛する 花を愛し、緑を愛し、「ふかや」を愛する心を育む

花植木イベントの開催	8
ガーデニング教室の開催	8
ガーデニングコンテストの開催	8
ホームページ及びSNSでの情報発信の充実	9
環境にやさしいガーデンシティ	9
先進地などとの交流	9

創る 自慢のできる美しいまちをモットーに、花と緑のあふれるまちを創る

市民との協働による「花」を生かしたまちづくり	10
公共施設のガーデニング	10
市民ガーデニングボランティアの活動支援	10
アダプト制度の活用	11
オープンガーデンの充実	11
花や緑を通じた園芸療法の場の提供	11

育む 市民協働により、子どもたちの感性や自然豊かなふかやを守り育む

ふかや学校花はなプラン・環境学習	12
地域活動の充実	12

【資料編】

1. 策定体制	14
2. 庁内検討会議設置要綱	14
3. 策定スケジュール	16
4. 用語集（五十音順）	17

心やすらぐ 花と緑のまち ガーデンシティふかや

住民によるまちづくりの実現・美しい街並の実現・花の産地ふかやのイメージアップ

【計画策定の目的】

深谷市では、平成16年3月に策定した「深谷市ガーデンシティふかや構想」、平成31年3月に策定した「深谷市ガーデンシティふかやプラン～セカンドステージ～」に基づき、花植木の産地としての特徴を活かし、花植木が持つ魅力を十分に活用し、市民協働を基本理念とした「心やすらぐ 花と緑のまち」づくりに取り組んできました。

本市においては、少子高齢化の進行や人口減少社会の到来など社会情勢は大きく変化していますが、花と緑をキーワードにしたまちづくりは、本市の価値をさらに高めていくものと考えます。

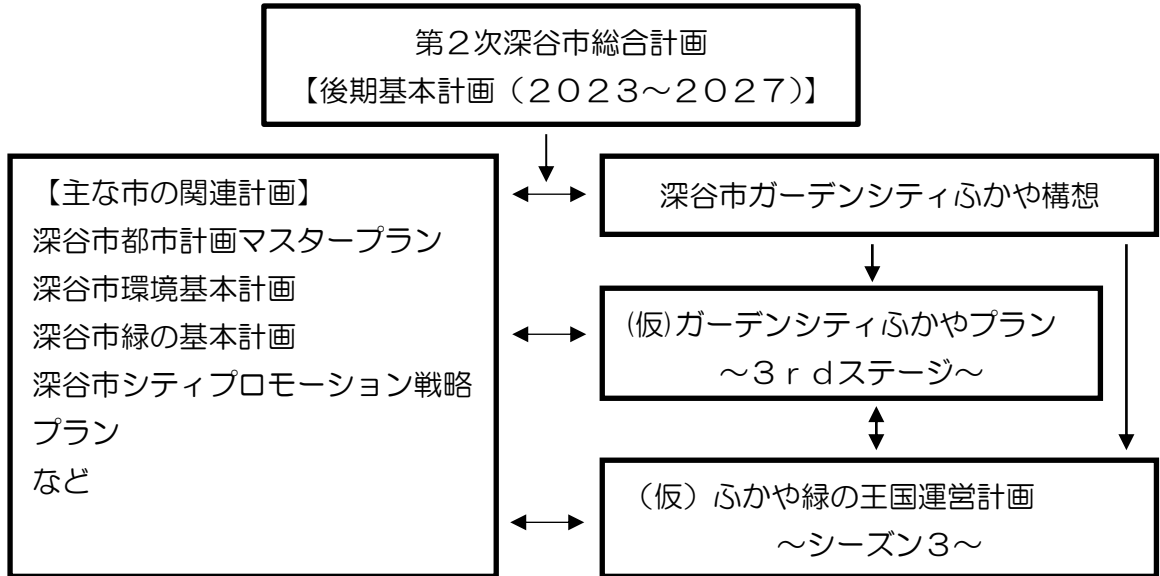
また、ガーデンシティ推進の取り組みは市民協働の先駆けでもあり、市民協働によるまちづくりは社会情勢の変化に対応していくためにも大切になっています。

このようなことから、引き続き、市民とともに、市の特産物である「花植木」を活かし、美しい街並みをつくとともに、子どもたちの情操教育の促進、地域間のコミュニティの形成などを図り、「心やすらぐ 花と緑のまち」づくりを推進することを目的として、「ガーデンシティふかやプラン～3rdステージ～」を策定します。



(写真) 深谷駅北口ステーションガーデン

【計画の位置づけ】



【計画の期間】

本計画の計画期間については、深谷市の最上位計画である第2次深谷市総合計画（後期基本計画）の策定期間が令和9年度（2027）までであり、その後、本計画の評価及び改善を行うことから、令和6年度（2024）から令和10年度（2028）までの5年間とします。

【現状】

深谷市は、チューリップやユリの切花、シャコバサボテンやカランコエなどの鉢物に代表されるように、全国でも有数の花の産地ですが、その生産される花のほとんどが郊外でのハウス栽培のため、花のまちという印象があまり強くありませんでした。また、植木についても県内有数の産地ではありますが、近年ではその販売額が減少してきております。

しかし、ふかや花フェスタの開催や同時開催のオープンガーデンフェスタを始めとしたガーデンシティふかやの取り組みとともに、市民ガーデニングボランティアやアダプト団体などの市民活動によって市内の公共空間（道路・公園等）が花壇へと変わっていき、花のまちづくりの活動は市内全体に広がりを見せています。

令和5年4月1日現在、市民ガーデニングボランティアについては、21名が登録しており、活動は週1回を基本に公共花壇の除草や花苗の植込み、花フェスタのメイン会場の装飾を行っています。また、アダプト団体は現在26団体約1,000名が、深谷市内の公共空間にてガーデニング活動や清掃活動を主に行っています。

しかしながら、市民ガーデニングボランティア及びアダプト団体の登録者数は減少傾向にあり、ボランティアの高齢化や固定化などが進んでいます。

【市民意識の把握】

令和4年度深谷市民まちづくりアンケートについて、ガーデンシティふかや推進事業に係る項目の結果は次のとおりです。

「市民活動（NPO 団体での活動やボランティア活動など）の中で、興味のある活動はありますか」

とてもある.....	3. 1%
少しある.....	27. 6%
あまりない.....	44. 2%
ない.....	23. 3%

「市民ガーデニングボランティア、王国ボランティアを知っていますか」

知っている.....	46. 2%
知らない.....	53. 2%

「花と緑をいかしたまちづくり活動に興味はありますか」

興味がある.....	66. 1%
興味がない.....	32. 6%

「花と緑をいかしたまちづくり活動に参加したいですか」

参加したい.....	35. 2%
参加したくない.....	62. 3%

以上のことから、市民活動に関しては、NPO 団体やボランティア活動に対して、あまり興味を持っていないことがうかがえます。

また、市民ガーデニングボランティアや王国ボランティアの知名度は4割と、ある程度市民に浸透していると思われます。

さらに、花や緑をいかしたまちづくり活動に興味がある方は6割を超えますが、活動に参加したいと思う方は4割未満と、興味はあるが活動に参加することにためらいを感じている市民がいることがうかがえます。

その他詳しいアンケート項目及び結果については、深谷市民まちづくりアンケートをご参照ください。深谷市のホームページから閲覧可能です。



(写真：市民ガーデニングボランティアによる深谷駅植栽作業)

【目指すまちづくりの姿】

花植木は、古くから人間の生活にかかわり深いものとして、美しさ、癒し、安らぎ、文化など各方面において人々のニーズの対象となっておりました。さらには、まちの景観づくりにも大きく寄与しています。

花植木の産地としての特徴を活かし、花植木が持つ魅力を十分に活用し、住民による花のある美しいまちづくりの実現、美しい街並みの実現、花植木の産地ふかやのイメージアップを図り、まち全体が庭園のような美しさとつながりを持ち、市民だれもが「美しく 豊かな暮らしを実感できる 元気なまち」を目指します。

【ガーデンシティふかや推進のための3つのキーワード】

本プランの実現に向けて市民の主体的な参加を得ながら、市民と行政の役割分担を明確にした市民協働によって、ガーデンシティふかやを推進していきます。

そのために、構想でも掲げている「愛する」、「創る」、「育む」の3つのキーワード（柱）を基に展開してまいります（施策体系図）。



（写真左：第20回ふかや花フェスタ 写真右：オープンガーデン）



（写真左右：市民ガーデニングボランティア活動風景）

【施策体系図】

心やすらぐ 花と緑のまち ガーデンシティふかや

住民によるまちづくりの実現・美しい街並の実現・花の産地ふかやのイメージアップ

愛する 花を愛し、緑を愛し、「ふかや」を愛する心を育む

- ①花と緑、さらには環境への意識向上を図る
- ②花と緑をいっぱいにする運動
- ③花や緑を愛する心を育む体制をつくる

花植木イベントの開催

ガーデニング教室の開催

ガーデニングコンテストの開催

ホームページ及びSNSでの情報発信の充実

環境にやさしいガーデンシティ

先進地などとの交流

創る 自慢のできる美しいまちをモットーに、花と緑の あふれるまちを創る

- ①SDGsによる花を生かしたまちを創る
- ②花と緑の豊かな場所を創る
- ③花と緑が楽しめる場所を創る
- ④花や緑を通した園芸療法の場を創る

市民との協働による「花」を生かしたまちづくり

公共施設のガーデニング

市民ガーデニングボランティアの活動支援

アダプト制度の活用

オープンガーデンの充実

花や緑を通した園芸療法の場の提供

育む 市民協働により、子どもたちの感性や自然豊かな ふかやを守り育む

- ①花と緑を通し環境学習等で子どもたちの創造力や感性を育む
- ②地域間のコミュニティを育む

ふかや学校花はなプラン・環境学習

地域活動の充実

愛する 花を愛し、緑を愛し、「ふかや」を愛する心を育む

これは、「花を愛し、緑を愛し、『ふかや』を愛する心を育む」をキャッチフレーズに、

- ①花と緑、さらには環境への意識向上を図る
- ②花と緑をいっぱいにする運動
- ③花や緑を愛する心を育む体制をつくる

を目的に以下の事業を実施します。

花植木イベントの開催

本市最大の花植木イベント「ふかや花フェスタ」は、すでに深谷市の春の風物詩として定着しています。

深谷市の特産物である花植木に、多くの市民や来場者が触れ合える機会を作り出し、花植木が持つ魅力を十分に活用し、花植木の持つ素晴らしさを実感してもらえる場を提供するとともに、ガーデニング教室やガーデニングコンテストなど市民参加型のイベントとして、深谷市内外へガーデンシティふかやをPRするため、今後も協賛企業や事業者の協力のもと、一体となり継続的に開催します。

また、花植木イベントが市内一体となって盛り上げられ、更なる賑わいが創出できるよう、関係する団体や事業者と協議しながら企画をしていきます。

ガーデニング教室の開催

ガーデニング教室は、未経験者や初心者のかたにもガーデニングの楽しさ、花植木の持つ素晴らしさを知っていただくための基本的な教室から、参加者のレベルに応じた各種教室を開催します。

また、1回限りの教室ではなく、数回にわたる教室開催でのガーデニング技術の向上、アレンジメント等も取り入れ、多くの市民にガーデニングを楽しんでいただくとともに、花と緑に係わる最新の流行の教室を柔軟に取り入れることで、ガーデニングへの関心を高めていきます。

ガーデニングコンテストの開催

ガーデニング教室を受講した初心者のガーデナーを始めとして、すでにガーデニングを楽しんでいる方々のさらなるレベルアップを目指すとともに、積極的にガーデニングに取り組まれている方々を応援し、その取り組みの広がりを期待するために花植木イベントなどにおいて、ガーデニングコンテストを開催します。

ホームページ及びSNSでの情報発信の充実

現在、ガーデンシティふかやに関する情報については、「おいでよ、深谷に」と「ふかや緑の王国」のホームページやSNS等での情報発信を行っています。

ホームページでは、各イベントや教室の参加者募集の記事、ボランティア活動の報告等の情報発信をこまめに行っています。

環境にやさしいガーデンシティ

身近な緑は地球温暖化などの環境問題の防止に役立つとともに、私たちに安らぎをもたらします。ガーデンシティふかや推進ではボランティアの育成や支援などに取り組むと共に、花植木イベントや花苗の植栽を通し身近な緑の保全・活用に取り組んできました。

これからも次世代に身近な緑を残し、良好な環境を引き継いでいくためにも、花植木やガーデニングを通して市民との協働による取り組みを推進します。

先進地などとの交流

深谷市と同じく花植木やガーデニングでまちづくりを成功させた先進地、あるいは、現在、取り組みを行っている地方自治体などと交流を図り、情報交換などを行います。

また、行政同士の交流だけではなく、市民協働の観点から深谷オープンガーデン仲間をはじめとした市民団体同士の交流など、行政、市民それぞれの立場で習得した知識や技術等をガーデンシティふかやづくりに活用していきます。



(写真：第20回ふかや花フェスタガーデニングコンテスト会場)

創る

自慢のできる美しいまちをモットーに、花と緑のあふれるまちを創る

第二に「創る」です。

これは、「自慢のできる美しいまちをモットーに、花と緑のあふれるまちを創る」をキャッチフレーズに、

- ①SDGsによる花を生かしたまちを創る
- ②花と緑の豊かな場所を創る
- ③花と緑が楽しめる場所を創る
- ④花や緑を通じた園芸療法の場を創る

を目的に以下の事業を実施します。

市民との協働による「花」を生かしたまちづくり

SDGsのゴール「17 パートナースhipで目標を達成しよう」を踏まえ、学校との連携や市民ボランティアとの協働により各種イベントを実施するとともに、花を生かしたまちづくりを推進します。また、ボランティアの新規加入を促進するために、広報ふかや及び各種イベントを通じボランティア活動への参加を呼びかけます。

公共施設のガーデニング

市内外へのPRや市民啓発等も含めて、ガーデンシティふかやのシンボルガーデンであるJR深谷駅北口に広がるステーションガーデンをはじめ、道路の植樹帯や残地、公園等その他公共施設を市民ガーデニングボランティア、アダプト制度などを活用し、ガーデニングを施すことにより、そこを訪れる方々に潤いと安らぎのある憩いの空間を今後も提供していきます。

市民ガーデニングボランティアの活動支援

ガーデンシティふかや推進に欠かせないのが市民ガーデニングボランティアの存在です。美しい街は自らの手で創り出そうということで、ガーデンシティ推進事業の当初から募集開始し、現在も活躍しています。

ステーションガーデンをはじめ、深谷駅通りや国道17号のプランターなど、花苗の植栽から除草などの維持管理を行っています。

公共施設などの植栽をおこなうボランティア活動を目にすることで活動に興味を持っていただき新たに参加されるかたもおりますが、高齢化や定年の延長などにより、ボランティアが減少していることから、広報誌等でボランティア募集の周知を行い幅広い年齢層のボランティアの参加や新たなボランティアの育成に努めます。

アダプト制度の活用

アダプト制度もガーデンシティふかや推進に欠かせない存在となっています。アダプトとは、「養子縁組をする」という意味で、道路の植樹帯や公園、緑地などの公共空間を養子と見立て、その土地を市民や自治会・学校・事業者の皆さんが里親となり、一定区域の緑化・美化・清掃活動等を行うもので、市民と行政の役割分担を定め、両者のパートナーシップのもとでさらなる活用を図ります。

オープンガーデンの充実

イギリスから発祥したオープンガーデンも今やすっかり深谷市に定着しています。深谷オープンガーデン花仲間は、深谷市最大の花植木イベントふかや花フェスタ開催時に合わせてオープンガーデンフェスタを開催しており、様々な花で彩られた個人の庭を一般に公開して、深谷市を花のまちとして盛り上げています。

また、深谷オープンガーデン花仲間は、見学者とガーデニングを通じて情報交換を行うとともに、県外への視察も実施して他市との交流を深めています。

このように個人のオープンガーデンと公共施設のガーデンが一体となり、深谷市全体が大きな一つの庭園になるようにその活動を今後も支援していきます。

花や緑を通した園芸療法の場の提供

色鮮やかな花や樹木などの緑は人の精神や体に癒しの効果があると言われていています。ガーデンシティふかやでは、公共花壇の花と緑を通して市民の皆様の心を癒しストレス緩和を図る憩いの場を提供します。



(写真左右：訪れる方々に心を癒しストレス緩和を図る憩いの場を提供します)

育む 市民協働により、子どもたちの感性や自然豊かな ふかやを守り育む

第三に「育む」です。

これは、「市民協働により、子どもたちの感性や自然豊かなふかやを守り育む」を
キャッチフレーズに、

①花と緑を通した環境学習で子どもたちの創造力や感性を育む

②地域間のコミュニティを育む

を目的に以下の事業を実施します。

ふかや学校花はなプラン・環境学習

ふかや学校花はなプランは、子どもたちが立てたプランに基づき、子どもたちや先生はもちろん、PTAや地域の住民も加わって、学校内のガーデニングを進めていく
ものです。

子どもたちが家族以外の地域の方々と触れ合う機会が増え、顔なじみになり、地域の
コミュニティが図れるとともに、防犯対策としても有効であると考えます。

また、花や土に触れたり、草花を育てたりすることによって、子どもの環境に対する
興味や学習の場に資するとともに、情操教育の促進や責任感、達成感、忍耐力を養
い、心身ともに成長していくことにもつながります。

学校だけに子どもの教育をお願いするのではなく、地域で将来の日本を担う子ども
を育て、豊かな心を持った子どもを育てられるよう、子ども・学校・PTA・地域が
一体となって取り組めるガーデニングを推進していきます。

地域活動の充実

自分たちが住んでいる地域にある公園などの公共空間を、アダプト制度などを活用
し、みんなで使う場所をきれいにする活動を支援・推進していきます。



(写真：学校花はなプラン活動風景)



(写真：アダプト活動風景)

【資料編】

1 【策定体制】

(1) 市民参加

市民の意見を反映するため、市民ガーデニングボランティアやアダプト登録団体などと意見交換を行い、意見の反映に努めながら策定作業を進めます。

(2) 庁内体制

策定にあたっては、関係部局との連携が必要であることから、庁内検討会議を設置し策定作業を進めます。

2 【庁内検討会議設置要綱】

「深谷市ガーデンシティふかやプラン」及び「ふかや緑の王国運営計画」
の見直しに関する庁内検討会議設置要綱

令和5年6月7日 協働推進部長決裁

(設 置)

第1条 「深谷市ガーデンシティふかやプラン」及び「ふかや緑の王国運営計画」（以下「プラン等」という。）は、それぞれ第2次深谷市総合計画（前期基本計画）の終期の令和4年度の翌年にプランの評価及び改善を行い、次期プラン等の策定を行うためそれぞれの終期を令和5年度までとしている。

令和5年3月に「第2次深谷市総合計画（後期基本計画）」が策定されたことから、プラン等の見直しに関し、広く検討を行うため、庁内検討会議（以下「検討会議」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 検討会議は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) ガーデンシティふかやプランの見直しに関すること。
- (2) ふかや緑の王国運営計画の見直しに関すること。
- (3) 第2次深谷市総合計画（後期基本計画）、深谷市緑の基本計画などの上位計画との整合性の確保に関すること。
- (4) その他ガーデンシティふかや構想の推進に関し必要な事項に関すること。

(組 織)

第3条 検討会議は、会長、副会長及び委員をもって構成し、別表に掲げる職にある者を充てる。

(職 務)

第4条 会長は、検討会議の代表として委員を招集するとともに、会議に係る事務を統括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会 議)

第5条 検討会議は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

2 会長は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求めて、説明若しくは意見を聴き、又は必要な資料の提供を求めることができる。

(庶 務)

第6条 検討会議の庶務は、協働推進部ガーデンシティふかや推進室において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、検討会議の運営に関し必要な事項が生じた場合は、会長が別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、令和5年6月7日から施行する。

別表（第3条関係）

会 長	ガーデンシティふかや推進室長
副会長	ガーデンシティふかや推進室長補佐
委 員	企画課課長補佐
	財政課課長補佐
	公共施設改革推進室室長補佐
	総務防災課課長補佐
	協働推進課課長補佐
	自治振興課課長補佐
	福祉政策課課長補佐
	農業振興課課長補佐（特産係担当補佐）

	商工振興課課長補佐
	産業ブランド推進室室長補佐
	環境課課長補佐
	都市計画課課長補佐（都市計画係担当補佐）
	公園緑地課課長補佐
	区画整理課課長補佐（中央区画整理係担当補佐）
	道路管理課課長補佐（管理係担当補佐）
	学校教育課課長補佐

3 【策定スケジュール】

日程	主な内容	担当
7月	委員からの意見徴収 意見の取りまとめ	検討会議 事務局
9月	見直し案の検討 プランに係る課題と解決策について発表	検討会議 事務局
10月	プラン（案）の提示、調整 ボランティアへプラン（案）の意見徴収	検討会議 事務局
12月	プラン（最終案）提示、内容確認、最終調整	検討会議 事務局
2月	ボランティア及びアダプト団体へプラン（最終案）の説明 市長決裁	事務局
3月	新プランの公表	事務局

4 【用語集（五十音順）】

• 園芸療法

日本園芸療法学会によると、園芸療法とは、「自然や植物の心地よい刺激を活用したストレス軽減、植物を育てることや植物を用いた創造活動による意欲回復や生活改善を主なねらいとし、医療や福祉分野をはじめ、多様な領域で支援を必要とする人たちの幸福を、園芸を通して支援する活動」をいいます。ふかや緑の王国では花と緑を通して、来園される方々の心を癒しストレス緩和を図る憩いの場を提供します。

• オープンガーデン

個人の庭などを一般の方に公開する活動のこと。

深谷市では、「深谷オープンガーデン花仲間」主催によるオープンガーデンが2004年から活動を開始している。オープンガーデンフェスタでは、「人がつながる 花でつながる」をモットーに市内外を問わず、多くのガーデニング愛好家と交流を深めることを目的に開催している。

• 市民ガーデニングボランティア

深谷市の公共花壇の除草や花苗の植栽を主な活動としている。また、当市最大の花植木イベント花フェスタではメイン会場の装飾を行っている。

• 市民協働

住民等と行政が、相互の立場や特性を認識・尊重しながら、共通の目的を達成するために協力して活動すること。

• SNS

ソーシャル・ネットワーキング・サービス (social networking service) の略であり、インターネット上の交流を通して、社会的ネットワークを構築するサービスのこと。エックス（旧ツイッター）やフェイスブックなどがその代表的なものである。

深谷市役所

ガーデンシティふかや推進室